

骨粗鬆症外来で通院される患者様へ

Osteoporosis Liaison Serviceのエビデンス構築に関する研究について

研究機関 慶友整形外科病院

研究責任者 旭 竜馬（東京国際大学 准教授）

研究責任者 岩本潤

このたび骨粗鬆症外来では、患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

患者様の試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師または研究責任者(旭)にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、Osteoporosis Liaison Service(和名：骨粗鬆症リエゾンサービス、OLS)に関する大規模データベースを作り上げることです。現在、日本では高齢化とともに骨粗鬆症の患者数が増加しており、それに伴い骨折も増えています、日本では2015年よりOLSの取り組みが開始となり、OLSは再骨折だけでなく初回の骨折予防も目的としております。OLSの目的は、多職種が連携して骨粗鬆症の治療率向上、必要な運動・栄養・薬剤などを指導していくことであります、骨折や骨折に伴う死亡率の減少などの効果が期待できます。しかし、その全容を捉えられるデータベースがまだありません。多施設におけるOLSの情報を共有できるシステムを作り上げることは、OLSの取り組みを科学的に確立するために大変有用です。OLSの有効性を明らかにし、患者様にとって科学的根拠のある治療を提供できるよう探って参ります。

2. 研究の方法

1)研究対象者

2010年4月～2026年3月の間に骨粗鬆症外来において、通院された方を対象とします。

2)研究実施期間

本研究の実施許可日～5年間（実施許可日より西暦2030年12月31日まで）

3)研究方法

インターネット上のデータベースへ登録します。

4)使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

無し

◇ 研究に使用する情報

匿名化したID、年齢、性別、ハッシュ値（氏名、性別、生年月日などから算出される文字列）、疾患情報、骨折日、死亡日、骨密度、身体機能評価、手術情報、手術日などの情報を提供して下さった患者様個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名化されてデータベースへ提出されます。

5)試料・情報の保存

登録されたデータは研究責任者（旭 竜馬）の責任下に保存されます。保存期間は本研究終了（あるいは中止）後5年間とします。

6)研究計画書の開示

研究に関する情報（研究計画書等のPDF）を以下のリンク先
(https://drive.google.com/file/d/1KMpP20_BbY8BvXarZNLLTvOcJaNWkFWY/view?usp=sharing) に公開します。

7)研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者様の個人情報がわからないようにした上で、学会での発表や論文執筆などで結果を公表していきます。本データについては、日本骨粗鬆症学会に所属する共同研究者が用います。

8)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者様の試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者様に不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

お問い合わせ

東京国際大学 医療健康学部准教授 旭 竜馬

連絡先（電話番号） 049-232-1111(代表) 内線番号 5492